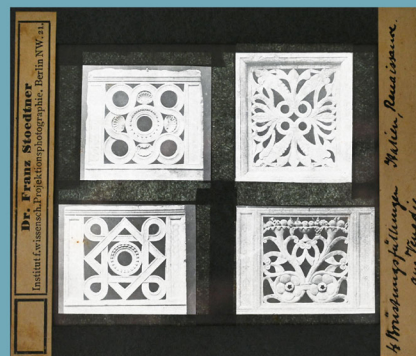
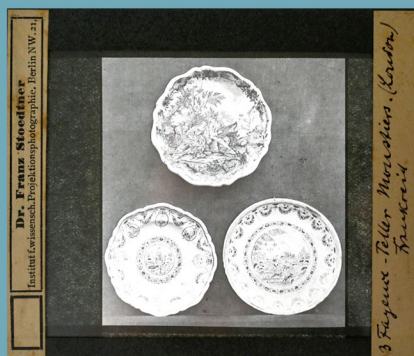
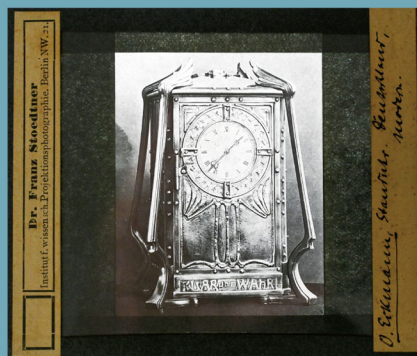


幻燈で知る世界のデザイン—

パルテノン神殿からアール・ヌーヴォーまで

Discovering the Design around the World through Lantern Slides:

from the Parthenon to Art Nouveau



京都高等工芸学校シリーズ第5弾は、ガラススライド(幻燈)を取りあげます。

京都工芸繊維大学の前身校のひとつ京都高等工芸学校は、明治35年(1902)、京都の伝統産業の近代化と新しいデザインをうみだす人材育成を目的として開校しました。同校では、当時最先端であった欧米の技術やデザイン潮流を取り入れるべく、教員らを洋行させるとともに、洋書をはじめ、参考となるポスターや工芸品など実物資料を海外から取り寄せて教材としました。その際、並行して収集されたのが美術品や建築物、博覧会の様子などが写されたガラススライドです。

幻燈は、スライドに描かれた絵や写真を光とレンズをつうじて拡大投影するもので、現代のプロジェクターの原型ともいえるものです。17世紀オランダで誕生し、マジック・ランタンとよばれてヨーロッパで人気を博しました。日本には江戸時代に一度渡来し、写し絵や錦影絵とよばれて娯楽として広がりしましたが、明治初期に再渡来し、政府の主導により教育・啓蒙用のメディアとして学校教育や市民教育の場で活用されました。

本展では、京都高等工芸学校において開校初10年に収集された海外製のスライドの一端を当時の教材とともに公開します。古代ギリシャ・ローマの美術から同時代のアール・ヌーヴォーまで、初代校長の中澤岩太(1858-1943)をはじめ、浅井忠(1856-1907)や武田五一(1872-1938)ら教員たちが20世紀初頭のヨーロッパで何をまなび、何を生徒と共有しようとしたのか、その高精細な画像の美しさとともに楽しみください。

ギャラリートーク

日時：2025年11月22日(土) 14:00～ 1時間程度

講師：安藤千穂子(国際日本文化研究センター研究部・プロジェクト研究員)、当館学芸員

申込：不要(先着20名程度)

同時開催

「ポスターで見るアール・デコ誕生とその後」

2025年11月10日(月)～12月20日(土)

お問い合わせ

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

TEL 075-724-7924 <https://www.museum.kit.ac.jp/>

交通

- ・市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分
- ・京都バス「高野泉町」下車徒歩約10分
- ・叡山電車「修学院駅」下車徒歩約15分

By Subways: Take Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.

By Kyoto Bus: Get off at "Takano-Izumicho" stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.

By Eizan Railway: Get off at "Shugakuin" Station and walk west for 15 minutes.

Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.



1. J.P. カイザー & ゾーン 《錫製スズラン模様花瓶》1894-1902、AN.0701
2. ロイヤル・コペンハーゲン 《水草ニ魚之図皿》1902 以前、AN.0699-1
3. ゲルツ社 《幻燈器械》1911 以前、AN.2172
4. 《小児魚釣花瓶》1902 以前、AN.0714
5. ジョルナイ工房 《エオシン植果実文鉢》1902 以前、AN.0710
6. パル (ジャン・ド・パレオログ) 《「ロイ・フラー・ショー」 フォリイ・ベルジュール座》1900、AN.3360
7. ジュール・シェレ 《パレ・ド・ガラス》1893、AN.3358

表面

フランツ・シュテットナー 《幻燈画》c.1895-1902、AN.0690

フランツ・シュテットナー 《幻燈種板 ヨーロッパ美術史写真》(部分)
c.1903-1911、AN.2171

